

事業所名 アスロンカケル児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

5日

法人（事業所）理念		運動療育を通して社会生活に必要な「生きる力」を身に付け、強い心身をもって「自立」することを目指す。		
支援方針		集団活動を通して、コミュニケーション能力を育成し、社会性を身に付ける。また、規範意識を高めるとともに苦手なことにも積極的に取り組むチャレンジ精神を養い、耐性を育てる。コーディネーショントレーニングを軸とし、バランスの良い運動を継続することで能力の向上につなげる。日々の療育においては、挨拶・返事・言葉遣いやマナーを大切に「思いやる心」を育て、明るく元気で活気ある教室づくりをおこなう。		
営業時間		8時30分から17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>「日常生活動作・スキルの獲得」・・・身の回りを清潔にし、食事・衣類の着脱・排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援をおこなう。</p> <p>「健康状態の把握」・・・体温測定、表情、顔色で健康状態の常なるチェックと必要な対応をおこなう。</p> <p>「生活リズムの形成」・・・スケジュールを目視化でき、本人にわかりやすい環境を整える。</p> <p>「自己管理能力の向上」・・・自己の持ち物の管理や施設の道具の準備、片付けなどのマナーやルールが守れるようになる。</p>		
	運動・感覚	<p>「姿勢・運動・体幹の形成」・・・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、筋力の維持・強化を図る。</p> <p>「コーディネーショントレーニングを軸とした感覚統合」・・・コーディネーション能力の向上を図り、五感や固有覚・前庭覚へのアプローチを図ったプログラムの実践。</p> <p>「学習指導要領に基づいた体育の実施」・・・マット、鉄棒、跳び箱などの学校体育で必要となる種目を実施。また、ボール運動や跳躍種目などもおこない総合的な運動の実施。</p>		
	認知・行動	<p>「空間・時間・数等の概念形成の習得」・・・視覚、聴覚、触覚の感覚を十分に活用し、物の形、色、音などの認知や数量、大きさ、重さの違いなどの認知機能の習得。</p> <p>「ハウスルールや集団行動の習得」・・・自分に入ってくる情報を適切に処理できるようになり、自ら考えて行動できるように支援をおこなう。</p>		
	言語 コミュニケーション	<p>「言語の形成と活用」・・・言語の習得、自発的な発声を促す支援。</p> <p>「コミュニケーション能力の向上と手段の活用」・・・人との関係性を構築するためのコミュニケーション能力の向上を図り、手段として発言、指差し、身振り、サイン等を活用し意思疎通が円滑にできるように支援。</p> <p>「読み書き能力の向上」・・・児童の特性に応じた読み書き能力向上のため、各種文字カード・絵カードなどを用いて支援。</p> <p>「ディスカッション・ディベートの実施」・・・自分の思いを言葉で表現できる力、相手にわかるような言葉を選ぶ力などの語彙力・読解力・理解力の育成。</p> <p>「挨拶の徹底」・・・分礼をおこない、発言とお辞儀を分けておこなう。</p>		
	人間関係 社会性	<p>「他者との関わりの形成」・・・人間関係を意識し、身近な人と関係性を築き、周囲の人との安定した関係を形成する。</p> <p>「規範行動の支援」・・・ごっこ遊びなどの遊びを通して、社会性や対人関係の構築を形成する。</p> <p>「集団療育での仲間づくり」・・・集団へ参加するためのルールやマナーや思いやりを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。</p>		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方との関係性構築のための保護者会の実施。 親子イベントをおこない、悩みや相談の場を設ける。 	移行支援	幼稚園・保育園などへの情報共有・提供	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 事業所間連絡会や通所支援連絡会への参加。 関係する児童発達支援事業所や放デイ、相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 新入職員研修 職員研修（BCP対策、感染症対策、虐待防止・身体拘束、ビジネスマナー、外部研修等） 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 イベント行事（BBQ、駅伝大会、スポーツフェスタ、ダンスフェスティバル、成果発表会等） 外出支援（水泳療育等） 			